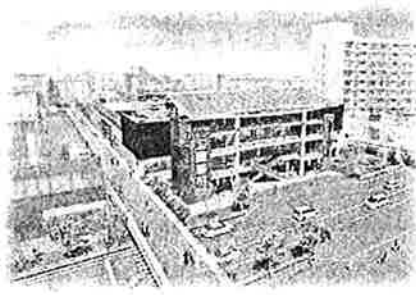


明舞団地センター地区事業コンペ

交渉権者にダイワロイヤル

兵庫県住供 複合商業施設を整備

兵庫県住宅供給公社は29日、明舞団地「明舞センター地区」の商業・住民交流ゾーン（明石市松が丘）を対象にした事業提案競技でダイワロイヤルを交渉権者に選定したと発表した。同社は複合商業施設を提案し、既存施設のテナントが入居するほか、新たに若者の活動拠点を設置するなど地域活性化の取り組みが評価された。7月下旬に基本協定を結び、テナントとの調整などを経て、13年1月ごろに着工、同年9月ごろの開業を目指している。



完成イメージ

「『まちの核となる『場づくり』の再構築』。5造4階建て延べ9636平方メートルの複合商業施設を建設する。2階のコリドール（回廊）と既存の歩道橋が連結し、センター地区全体の回遊性を確保するほか、バス停前に昇降

機を設置することで既存の他施設の利用者に対するバリアフリーにも寄与する。

また、地域活性化のため、空き店舗を活用した「すみかえ&リフォーム相談センター」や若者の活動拠点「コミュニティデザインセンター」など四つの要素を持つ活動拠点の設置を提案。建物のセットバックやオープンコリドール化により沿道への圧迫感を軽減し、緑化や大型キャノピーを設置するなど変化に富んだ外観を形成する。事業用定期借地で期間は20年間となる。

対象地は、センター地区第一期再生事業区域の4377平方メートル。前回のコンペが不調となったため、松が丘ビルなど既存

施設のリニューアル工事を除く。事業用定期借地権方式の導入を前提とする。西広場用地のみの提案を募集した。

その結果、同社のみが提案書を提出し、地元テナントに対するプレゼンテーションや質疑応答などを踏まえ、審査委員会

が提案内容と提案価格を総合的に評価、基準点を満たしたため、同社を交渉権者に選んだ。

提案コンセプトは